

【第3会場：4S06教室（7）】

団体名：公益財団法人 静岡県国際交流協会

（公財）静岡県国際交流協会では、すべての外国人住民の皆さんが地域の一員として自立し、生き生きとした生活を送ることができるよう、平成25年度から国際理解・交流推進事業と多文化共生推進事業を一本化し、地域はもとより行政や市町国際交流協会、ボランティアやNPO・NGO、更には企業や関係機関など県をあげて推進体制づくりを進めながら、具体的な連携の促進、日本語支援の人材育成など様々な事業に取り組んできました。今後も、引き続き関係の皆さんと力を合わせ、防災や医療・福祉、労働や教育など各分野の事業推進に取り組んでいきます。なお、日本語教育で重点的に取り組む事業については下記のとおりです。

### 日本語ボランティア研修会開催事業

外国人住民への日本語支援を行う担い手の育成や中心的支援者のスキルアップを図るため「日本語講師ボランティア研修会」を開催します。また、「ボランティアセミナー」を開催し、地域における日本語教育の重要性や多文化共生の地域づくりの周知・普及を図っていきます。

### 外国人学校生徒日本語支援事業

日本語学習環境が整っていない外国人学校に在籍する生徒に対して、日本語に触れ、学ぶ機会を提供し、日本語習得の支援を行います。



### 外国人児童生徒支援事業

学校教員や支援員・相談員、ボランティアなどが一同に会し指導方法について学ぶとともに、地域に抱える課題について協議する「静岡県教育支援者研修会」を静岡県教育委員会と協働で開催します。

### 外国人技能実習生日本語支援事業

当協会が、日本語指導者、地域の企業及び外国人技能実習生の三者を企業の協力・理解を得て結びつけ、地域における相互交流・相互理解の促進を図ることを目的とした日本語教室を開催します。




〒422-8067 静岡県静岡市駿河区南町 14-1 水の森ビル 2 階

TEL.054-202-3411 FAX.054-202-0932

Email info@sir.or.jp URL <http://www.sir.or.jp>

Facebook <http://www.facebook.com/sir.friend>

事業実施概要

事業名称	外国人社員向け地域連携日本語教室・日本語支援者スキルアップ研修会・静岡県日本語ボランティアセミナーの開催			
地域の課題	<p>県内各地域の企業には、中国をはじめとする東南アジアからの外国人実習生だけでなく、南米系外国人も一定数就労しており、職場内の日本人就業者と外国人就業者とのコミュニケーションが一つの課題となっている。</p> <p>一方、県内各地域では、こうした外国人住民を支援するため、約 70 グループによる 120 以上の日本語教室が開催されているものの外国人住民の参加率は低く、いかに外国人住民に日本語習得の場に出てきてもらうか、関係者の改善に向けた努力が続いていた。</p> <p>こうした二つの課題をつなげ、関係者が課題に対する情報を共有化した上で連携の具体化を図っていく取組が求められている。</p>			
事業の目的	<p>当協会が中核的役割を担い、日本人社員・外国人社員・日本語支援者の 3 者の連携を強化し、より多くの外国人住民が地域社会との接点をもつことを支援する。また、日本語学習者が日常生活を豊かにするための日本語支援について再考する研修会を実施し、日本語支援者同士の情報共有を図るとともに、参加者が地域日本語教室の存在・活動意義について多角的な視点をもつことを目的とする。</p>			
事業内容	<b>取組 1</b>		<b>取組 2</b>	
	名称	外国人社員向け地域連携日本語教室	名称	日本語支援者スキルアップ研修会
	内容	日本語学習と就労現場を結びつけることを目的とした日本語教室を県内 6 か所で実施する。	内容	学習者の視点に立ち、対話型の手法を学ぶ「講義」と実際に日本語教室へ参加し体験する「実習」、学習者の習得度を自己確認する「実践」の 3 本立てで実施する。
	対象	外国人技能実習生等	対象	日本語支援活動に興味のある方
	時間	1 回 2 時間 × 9 回 × 6 ヶ所 (全 108 時間)	時間	全 7 回 (全 21 時間)
	人数	80 人	人数	31 人
	<b>取組 3</b>			
	名称	静岡県・日本語ボランティアセミナー 2014		
	内容	日本語支援や地域における日本語教室のあり方について検証し、今後の取組につなげていく多角的な知見を得ることを目的とし、基調講演とテーマ別の分科会を 3 つ実施する。		
	対象	どなたでも		
時間	4.5 時間			
人数	171 人			
連携体制	<p>取組 1 / JITCO、商工会議所、実習生管理団体、日本語支援グループ、日本語学校</p> <p>取組 2 / 静岡県東部日本語ボランティアネットワーク、磐田国際交流協会、多文化共生をめざす会</p> <p>取組 3 / 6 つの日本語支援グループより運営委員を依頼、協働で実施</p>			
成果と課題	<p>日本語教室は、学習者への日本語指導だけでなく、日本人社員を対象とした異文化理解を目的とした研修会も実施することで、日本語学習支援者や地域の日本語教室の存在の周知、県や市町の国際交流協会や支援団体とつながることの意義を理解してもらうことができた。今後はより一層日本人社員への働き掛けを充実させ、就労現場における具体的な社員同士のコミュニケーションの変化まで調査し、優良事例については他地域へ紹介していきたい。</p>			
発表者から一言	<p>取組 1 の「外国人社員向け地域連携日本語教室」を中心に協会・企業・日本語支援団体の連携体制の構築過程、具体的な取組の内容についてお話しします。</p>			